

やめさせよう 安倍改憲



集団的自衛権行使

空母・巡航ミサイル保有

イラク日報隠ぺい

幹部が国会議員を罵倒

首相が書き込むのは

安倍政権は末期状態ですが、9条改憲だけは絶対にあきらめません。

首相が9条に明記しようとする自衛隊は、災害救助に汗を流す自衛隊ではありません。安保法制によって集団的自衛権を行使し、長距離巡航ミサイルや空母を持ち、専守防衛をかなぐり捨てた自衛隊。「日報」を隠ぺいし、国民に選挙で選ばれた国会議員を「国民の敵だ」と罵倒する自衛隊です。

こんな自衛隊に大きな権限を与える9条改憲は、あまりにも危険です。海外で戦争する軍隊への変質を許してはなりません。

海外で戦争する軍隊

朝鮮半島で

平和の激動

いま朝鮮半島では歴史的な平和の激動が起っています。南北首脳会談で発せられた「板門店宣言」は、「完全な非核化」と「年内の朝鮮戦争の終結」を宣言しました。日本

共産党は、これを心から歓迎します。米朝が首脳間の緊密な意思疎通を強め、首脳会談実現に向けた努力を行うこと、会談が大きな成功をおさめることを強く期待します。

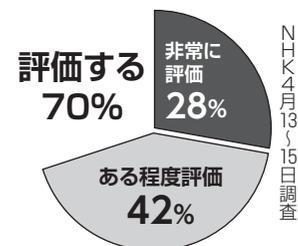
9条



生命力を発揮

「よその国と争いごとがおこったとき、けっして戦争によって…じぶんのいいぶんをとおそうとしない」。憲法施行後に全国の中学1年生に配られた『あたらしい憲法のはなし』では、紛争の平和的解決をうたった憲法9条をこう説明しました。北朝鮮の核・ミサイル問題をめぐる対話解決の動

憲法9条をどう評価するか



きは、9条が生きて力を発揮していることを示しています。

いま必要なのは憲法を変えることなく、憲法を生かし北東アジアの平和と安定を実現する積極的な外交努力を行うことです。

日本共産党

圧力一辺倒 安倍外交は破綻

安倍首相は、北朝鮮問題を「国と軍事力強化を叫んできました。難」とまでいって、北朝鮮の脅威対話否定、圧力一辺倒の安倍路線をあおりつつ9条改憲の必要性線は完全に破たんしています。

憲法生かした平和外交を